

2023～2024年度 事業計画

会員増強委員会

委員長	大森栄作
副委員長	榎田丈洋(兼)
委員	久間利彦(兼) 狩尾元重
	土岡正和(兼) 野口清一(兼)
	松浦充恭(兼)

◎活動目標

今年度中に中期ビジョン会員65名を達成する為に、前年度対純増2名を目指す。その為に、会員の皆様に会員増強に対する意識向上につながるプログラムを行う。また、年度以降の入会の可能性の有る人材を発掘する為の情報収集を行う。

◎事業計画

1. 8月「会員増強・新クラブ結成推進月間」に、会員増強に対する意識を高める適切なプログラムを実施する。
2. 今年度、対前年純増2名を目標として会員増強を行う。また今年度は特に若い会員や女性会員の増強を行う。(随時)
3. 会員増強委員会のメンバー皆様と、情報交換の為の会合を、年に数回開催する。(随時)
4. 退会防止の為、会員間の情報交換の出来る環境整備に努める。(随時)

公共イメージ委員会

委員長	上藤淳一
副委員長	三戸初人(兼)
委員	加藤忠二 藤本哲智
	原田俊二

◎活動目標

地域社会の人びとにロータリーの活動とそのインパクトを理解してもらうには、効果的な公共イメージ戦略が重要となります。公共イメージ委員会は、奉仕活動委員会と連携してロータリーを人びとに紹介し、ロータリーの活動に対する理解、評価、支援を促します。

◎事業計画

1. クラブの活動を一般の人びとに効果的に広報する。(適宜)
 - ① HPの活用。
 - ② FacebookなどのSNSの活用。
2. マスメディアに対する対応。(適宜)

地区補助金プロジェクト、社会奉仕活動などの事業について担当委員会と協力し、メディアを通じてクラブの活動をアピールし公共イメージアップに繋げる。
3. クラブDXの推進。(適宜)
 - ① My Rotaryの「登録」&「活用」を推進。
 - ② Zoom併用のハイブリット例会運営支援。

クラブ管理運営統括委員会

統括委員長 後藤 孝彦(兼)

◎活動目標

クラブ管理運営統括委員会に所属する各委員の活動目標・事業計画が円滑に行われるよう支援・協力する。

◎事業計画

1. クラブ管理運営に関わる各委員会委員長と連携し事業計画の円滑な遂行に協力する。(適宜)
2. ビジョン委員会と連携し戦略計画の協議・立案に参画し、ビジョン委員会会議の開催に協力する。(適宜)
3. 毎月第1例会にて「四つのテスト」、第3例会にて「職業奉仕 四つの反省」の唱和を奉仕プロジェクト統括委員会と協力して実施する。

出席委員会

委員長	寺下 正博	
副委員長	岡本 正信	
委員	奥先 憲太郎	幟立 千明
	森田 旭(兼)	

◎活動目標

例会出席は、ロータリアンにとって三大義務の一つであります。例会はZOOM併用も行っておりますので、各種大会、事業、メイク等の出席のご案内をさせて頂き、一人でも多くのメンバーの皆様に出席して頂ける様奨励する。

◎事業計画

1. 例会の出席率を委員会が検討し、その後の例会次時に出席率・検討内容を発表する。(通年)
2. メイクアップの情報を提供し、メイクアップを奨励する。(随時)
3. 地区大会、IM、奉仕プロジェクト活動等に出席するよう依頼する。(随時)
4. 前年度100%及び連続100%出席者を表彰する。(7月)
5. 出席率90%以上を目標とする。

雑誌・会報委員会

委員長	小松繁夫			
副委員長	岡本正信(兼)			
委員	西村英昭	景田博文(兼)		
	田北邦保			

◎活動目標

「ロータリーの友」購買を推奨し、各委員会がロータリー情報を取得し、ロータリアンとしての自覚を深めるよう努める。

◎事業計画

1. 「ロータリーの友」に記載されている記事について例会で紹介する。
2. 週報への投稿を会員に依頼する。(随時)
3. 9月「ロータリーの友月間」には、適切なプログラムを実施する。
4. クラブ実施事業の活動報告を「ロータリーの友」へ寄稿する。(適宜)

親睦(R家族)活動委員会

委員長	榎田丈洋			
副委員長	寺下正博(兼)			
委員	海生俊史	奥原國雄		
	久間利彦(兼)	村上敏浩		
	中野智治(兼)	森田旭(兼)		
	岡本正信(兼)	親谷順子(兼)		
	原田俊二(兼)	國久保純		
	西川記史	梶勇二郎		
	幟立眞理	岡田光隆		

◎活動目標

3年間と長きに亘り続きましたコロナ禍で、気薄となった親睦活動をロータリークラブの原点である「職業奉仕と親睦」の言葉のとおり年間の行事を通じて、友情の輪を広げ、会員一丸となり絆を深める活動をする。

◎事業計画

1. 納涼家族花火例会(呉市海上花火大会)(7月22日)
2. 江田島・呉南RC合同観月例会(9月19日)
3. 忘年家族例会(12月19日)
4. 花見例会(4月2日)
5. 6月「ロータリー親睦活動月間」最終例会(6月18日)
6. 「RI第2710地区ガバナー杯RC親善野球大会」への協力。(3月)
7. 県外親睦旅行&清盛会(4月～5月)
8. 地区行事、社会奉仕行事、親睦活動行事等に参加協力。(随時)

プログラム委員会

委員長	三戸初人	
副委員長	松浦充恭	
委員	木村法蔵	大内基康(兼)

◎活動目標

クラブ会長の運営方針に沿ったプログラム作りを目指す。また、ロータリーに対する知識、理解を深め、会員が楽しんで例会に出席したくなるようなプログラム作りを実施する。

◎事業計画

1. 会員・家族間の親睦が深められるよう、親睦活動委員会に協力をお願いし、特別例会を実施する。(随時)
2. RIが奨励する特別行事・月間・週間・日のプログラムを実施する。(随時)
3. 会員の協力をお願いし、会員卓話を実施する。(随時)
4. 外部講師を招聘し、卓話を実施する。(随時)
5. クラブ内の委員会に対する知識、理解を深めて頂けるようなプログラムを実施する。(随時)
6. ロータリー全般の知識を深めて頂けるような「RLI方式」の研修例会をロータリー情報・研修委員会と協力し実施する。(年2回程度)

ロータリー情報・研修委員会

委員長	村永朋(兼)
副委員長	牛窓正規(兼)
委員	宇都宮昭憲

◎活動目標

ロータリー情報に於いては「ロータリーの友」、「ガバナー月信」等を使用し会員に情報提供を行い、ロータリーに対しての理解を深める。

研修等についてはロータリーの歴史・活動目的・社会貢献等の情報を提供し、広く理解して頂けるように努める。

◎事業計画

1. 新会員を対象とする「情報集会」を開催。(随時)
2. 例会時に於いてロータリーの情報を機会ある毎に提供する。(随時)
3. プログラム委員会と協議し、地区RLI受講修了会員をディスカッションリーダーとして「RLI方式」の例会を最低年2回以上開催する。(随時)

奉仕プロジェクト統括委員会

統括委員長 牛 窓 正 規(兼)

◎活 動 目 標

RI会長テーマ、ガバナー信条をふまえた“奉仕プロジェクト”の実施に努力する。各奉仕委員会の事業の成功に寄与し、また、多数の会員が参加いただけるよう努力する。ロータリー奉仕デー、地区一斉事業の「環境問題に関する出前授業」の実施に努力する。

◎事 業 計 画

1. 「ロータリー奉仕デー」の成功に向け、各委員会と協議する。(10月)
2. 共同事業の「くれ食の祭典」への参加を通じて(11月5日)
 - ① ポリオ根絶募金
 - ② がん予防の啓蒙活動
 - ③ 公共イメージと認知度の向上について市民への 啓発活動を行う。
3. 毎月第1例会にて「四つのテスト」、第3例会にて「職業奉仕 四つの反省」の唱和をクラブ管理運営統括委員会と協力、実施する。
4. 各委員会の事業が円滑に実施できる様、支援する。(随時)

職 業 奉 仕 委 員 会

委員長	平 尾 圭 司		
副委員長	山 岡 嗣 也(兼)		
委 員	高 木 俊 雄	原	豊(兼)
	後 藤 孝 彦(兼)		

◎活 動 目 標

クラブ内の事業並びに専門職務の遂行に役立つ事業を実践し、職業を通じた奉仕の理念を推進する。

◎事 業 計 画

1. 会員の健康診断。(12月)
12月「疾病予防と治療月間」にて。
2. 職場例会・優良職業人表彰。(1月・4月)
1月「職業奉仕月間」にて「職場例会」を実施。
3. 毎月第3例会には、ロータリアンの「職業奉仕 四つの反省」唱和。
4. がん予防の促進事業。(適宜)

社会奉仕委員会

委員長	大内基康		
副委員長	山本勝広		
委員	亀本興紀	山上亀一郎	
	宇都宮昭憲(兼)	大森栄作(兼)	

◎活動目標

ロータリークラブの公共イメージの向上のため、地区補助金を活用した社会貢献活動等を実施。

また、“くれ食の祭典”等をはじめ、地域団体の奉仕活動への参加、協力を行う。

◎事業計画

1. “くれ食の祭典”への参加。(11月5日)
2. 「大和波止場清掃奉仕活動」実施。
呉市老人クラブ連合会との共同活動。(12月・5月予定)
3. 特定非営利活動法人 ぼでーる障がい者支援施設「ぼこ・あ・ぼこ」へ「2023-24年度地区補助金」の協力をえて、プロジェクト名“特定非営利活動法人 ぼでーるが運営する、障がい者支援施設「ぼこ・あ・ぼこ」へ、空気清浄機2台、ゲーム機器2台分、屋内外用スポーツ用具一式を寄贈する。”実施予定。(9月～11月)
4. 呉市内での清掃活動を検討のうえ実施。
5. 10月「地域社会の経済発展月間」、4月「環境月間」に適切なプログラムを実施する。

国際奉仕委員会

委員長	土岡正和		
副委員長	野口清一		
委員	古本幸三	山本清(兼)	
	住原勝正	牛窓正規(兼)	
	後藤孝彦(兼)	山本勝彦(兼)	

◎活動目標

中断しているフィリピン共和国アンヘルスノースRCとのグローバルプロジェクトを具体化する。

このプロジェクトを実現するために必要な準備や打ち合わせを行う。

◎事業計画

1. アンヘルスノースRCと呉南RCの友好クラブとしての定期的な交流を継続する。
2. アンヘルスノースRCとのグローバルプロジェクトを推進する。
3. 世界の疫病、災害への救護活動に対し、出来る資金援助を実施する。
4. ロータリー財団、米山記念奨学会への事業向上・継続に協力する。
5. 9月「基本的教育と識字率向上月間」、2月「平和構築と紛争予防月間」に適切なプログラムを実施する。

青少年奉仕委員会

委員長	中野智治	
副委員長	森田旭	
委員	奥先憲太郎(兼)	沖本恭治
	寺下正博(兼)	

◎活動目標

次世代を担う青少年及び若者に明るい豊かな未来を創造し、指導力を発揮してもらうための足掛かりとなるような支援を行う。

◎事業計画

1. 「RYLA(ライラ)」(ロータリー青少年指導者養成プログラム)への参加。
(3月15日～17日 江田島市)
2. 「One Heart こどもミュージカル in 呉」の活動に対し広告協賛及び支援を行う。
(10月23日予定)
3. インターアクト委員会活動への協力を行う。(随時)
4. 各青少年活動(ボーイスカウト、呉市中学校野球選手権大会、呉地区少年剣道錬成大会等)への後援、支援を行う。(通年)
5. ポリオ・プラス、障害者支援への寄付活動。(通年)
6. 5月「青少年奉仕月間」には適切なプログラムを実施する。

インターアクト委員会

委員長	遠藤 幹							
副委員長	平尾 圭司(兼)							
委員	坪川 禮巳	三戸 初人(兼)						
	上藤 淳一(兼)	山岡 嗣也(兼)						
	村永 朋(兼)	田北 邦保(兼)						
	中野 智治(兼)	原田 俊二(兼)						

◎活動目標

清水ヶ丘学園インターアクトクラブ部員の主体性と自主性が例会や様々な奉仕活動を通じて育成され、他人に対する思いやりと他人の力になるような活動、仲間作りが実践され、道徳観を持って地域社会に貢献し、さらに国際理解と親善を推進できるように指導と協力を行う。

◎事業計画

1. 毎月1回の清水ヶ丘学園IAC例会へのロータリアンの参加を要請する。
(原則として毎月第3木曜日開催)
2. RI第2710地区「IA地区大会(山口市)」への参加支援を行う。(7月29日~30日)
3. 11月5日を含む1週間の「世界インターアクト週間」において適切なプログラムを実施する。
4. IAC卒業生送別例会、新入生歓迎例会に参加する。(3月・4月)
5. 呉こども祭、クリスマス会(呉市手をつなぐ育成会)でのIAメンバーの協力を支援する。(5月・12月予定)
6. 地区「IA指導者研修会」に参加する。(5月・6月予定)
7. 地区「IA顧問教師懇談会」に参加する。(6月予定)
8. 呉南RC奉仕プロジェクト統括委員会主催行事への積極的な参加を支援する。
(適宜)
9. IAメンバーによる例会行事への参加、校内での奉仕活動行事への支援をする。
(適宜)
10. IAC生徒にボランティア証明書を発行する。(適宜)

ロータリー財団統括委員会

統括委員長	山岡嗣也
副委員長	親谷順子
委員	山本清(兼) 宇都宮昭憲(兼)

◎活動目標

ロータリー財団に対するクラブ会員の知識の向上と理解を深めることに努め、R財団への寄付の協力を要請する。

◎事業計画

1. 7月「母子の健康月間」、11月「ロータリー財団月間」、3月「水と衛生月間」でのプログラムを実行する。
2. R財団の年次基金目標に努める。(通年)
3. ロータリーカードへの理解と普及に努める。(通年)
4. 「ポリオ根絶」に向けてポリオ・プラス委員会の活動に協力する。(通年)
5. 地区補助金プロジェクト(社会奉仕委員会)の推進に協力する。(7月～11月)
6. アンヘルスノースRCとの新グローバルプロジェクト(国際奉仕委員会)実現に向けた、計画手続きを進める。

ポリオ・プラス委員会

委員長	木戸正博
副委員長	景田博文
委員	高木俊雄(兼)

◎活動目標

ポリオ根絶の困難と根絶活動について愛飲・一般市民に理解していただき、寄付目標を達成する。

◎事業計画

1. 11月「ロータリー財団月間」にポリオ根絶活動、寄付活動の情報を提供し理解をお願いする。
2. 例会時に“ポリオボックス”を設置して、ポリオ・プラス支援協力、寄付をお願いする。(随時)
3. 「くれ食の祭典」において、他委員会・会員・他団体と協力してポリオ根絶キャンペーンを「ロータリー奉仕デー」として行う。(11月5日)

米山記念奨学委員会

委員長 山本 清
副委員長 親谷 順子(兼)

◎活動目標

日本で学ぶ私費外国人留学生に奨学金を支給し、将来日本と世界を結ぶ【懸け橋】
となって国際社会での活躍とロータリー活動の理解者となる人材として育成する。

◎事業計画

1. 普通寄付を例年通り実施する。(通年)
2. 特別寄付を奨励する。
普通寄付と合計で¥16,000/1名の達成に努力する。(通年)
3. 2023学年度ロータリー米山奨学生 史 蕊(シズイ)さんに卓話やクラブ行事に参加して頂き親善を深める。(通年)
4. 米山奨学生世話クラブとしてカウンセラーと協力して奨学生の個人的なケアとアドバイザーになれるように努力する。(通年)
5. 10月「米山月間」には理解・認識を深める為のプログラムを実施する。

ビジョン委員会

委員長 原 豊
副委員長 久間 利彦
委員 歴代会長
特別委員(前年度・本年度・次年度 三役)

◎活動目標

今後の呉南ロータリークラブのあるべき姿を考え、中長期的な目標および計画を立案し、クラブの発展に貢献する。

◎事業計画

1. ベテラン、中堅、若手の交流を増やし、相互理解を深め更なる呉南ロータリークラブの活性化と発展を目指す。(随時)
2. 各担当委員長と相談し新会員を含む入会の浅い会員を対象として、ロータリー活動への理解を深めるための研修会を実施する。(随時)
3. 国際ロータリーの方針などに基つきクラブ細則の変更及び定款の見直しを提案する。(随時)
4. 必要に応じ、また三役、各担当委員長から依頼があれば委員会を開催する。(随時)
5. 地域社会において、また国際ロータリー第2710地区における今後の呉南RCの果たすべき役割について検討し、クラブが具体的な目標および計画を策定できるように努める。(随時)

会場監督(S.A.A)委員会

委員長	垣谷広明			
副委員長	中野智治(兼)			
委員	野口清一(兼)	上藤淳一(兼)		
	寺下正博(兼)	岡本正信(兼)		

◎活動目標

例会をはじめ、すべての会議(協議会等)が楽しく、秩序正しく運営される様常に心を配り、気品と風紀を守り会合が有意義に運営できる為に責任をもって遂行すると共に円滑な奉仕活動が出来る様ニコニコ基金を募る。

◎事業計画

1. 気品と品格のある例会運営に努める。
(特にロータリーバッジ、ネクタイ着用、卓話の席での私語等)守って頂く様指導する。
2. 例会席は例会の前に決定し、各自その席でコミュニケーションをとれる様お願いする。
3. ニコニコ、ペコペコ基金の目標額は2,000,000円で達成できる様、会員の皆様にタイムリーにお願いする。
4. 例会食の内容は会員の希望に添える様、努力する。
5. Zoomでの例会参加も継続して行う。

会 計

真鍋公昭

◎活動目標

事業計画に基づき適正な予算を策定し、年間を通じて執行状況を確認、クラブ資金の管理を行う。

理事会、例会にて予算及び決算の報告を行う。

◎事業計画

1. 三役及び各委員会の事業計画に基づき適正な年度予算の策定を行う。(6月)
2. クラブの資金、会計帳簿の確認、財産管理を行う。(通年)
3. 収入及び支出が事業計画に基づいているか定期的にチェックを行い予算の執行状況を把握する。(通年)
4. 例会において予算説明(7月)、上半期決算報告(1月~2月)、決算報告(次期8月)を行う。
5. 会計処理に関して内部監査を依頼する。(次期8月中)